マルチメディア
ユーザ ガイド

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1　マルチメディア機能

お使いのコンピュータには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。お使いのコンピュータには、以下のマルチメディア コンポーネントが含まれています。

- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ
- 音楽を再生する内蔵スピーカ
- 独自のオーディオを録音する内蔵マイク
- 動画の撮影および共有ができる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるホットキー

注記：　お使いのコンピュータによっては、下記の一覧に記載されているすべてのコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピュータに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

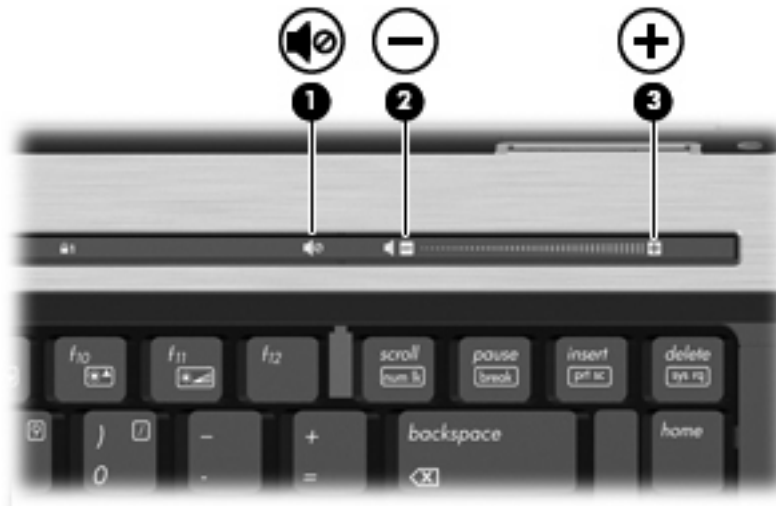
マルチメディア コンポーネントの各部

以下の図と表で、コンピュータのマルチメディア機能について説明します。

名称		説明
(1)	内蔵マイク（×2）	サウンドを録音します
(2)	HP Web カメラ	音声と動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(3)	HP Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています
(4)	ミュート（消音）ボタン	スピーカの音を消したり元に戻したりします
(5)	音量調整スライダ	スピーカの音量を調整します
(6)	スピーカ（×2）	サウンドを出力します
(7)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオを接続したときに、サウンドを出力します 注記：　ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピュータのスピーカは無効になります。
(8)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ ヘッドセット マイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- コンピュータ本体の音量調整デバイス：
  - 音を消したり元に戻したりするには、ミュート（消音）ボタン（**1**）を押します。
  - 音量を下げるには、音量調整スライダで指を右から左にスライドさせるか、音量下げボタン（**2**）を押します。
  - 音量を上げるには、音量調整スライダで指を左から右にスライドさせるか、音量上げボタン（**3**）を押します。

- Windows®の[ボリューム コントロール]：

  a. タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。

  b. 音量を調整するには、スライダを上下に移動します。音を消すには、**[ミュート]**アイコンをクリックします。

  または

  a. 通知領域の**[音量]**アイコンを右クリックし、**[音量ミキサを開く]**をクリックします。

  b. 音量を調整するには、[スピーカ]列の**[音量]**スライダを上下に移動します。**[ミュート]**アイコンをクリックして音を消すこともできます。

  [音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順で操作して表示します。

  a. 通知領域で右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。

  b. **[通知領域]**タブをクリックします。

  c. [システム]アイコンの下の**[音量]**チェックボックスにチェックを入れます。

  d. **[OK]**をクリックします。

- プログラムの音量調整機能：

  プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

2　マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピュータには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの詳細について説明します。

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアへのアクセス

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアにアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。

注記： サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

注記： コンピュータの付属ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピュータの再起動を要求するメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

3 オーディオ

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピュータのスピーカおよび接続した外付けスピーカを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続された外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）または FM ラジオ信号の受信
- オーディオ CD の作成（書き込み）（一部のモデルのみ）

外付けオーディオ デバイスの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカ、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。良好な結果を得るため、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピュータの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピュータの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要な任意のドライバをインストールします。

注記： ドライバは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバータとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピュータのシステム サウンドを確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[ハードウェアとサウンド]**をクリックします。
3. **[サウンド]**をクリックします。
4. [サウンド]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、**[テスト]**ボタンをクリックします。

   スピーカまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピュータの録音機能を確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[サウンド レコーダ]**の順に選択します。
2. **[録音]**をクリックし、マイクにに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]を起動して、サウンドを再生します。

注記： 録音するときに最高の音質を得るため、マイクに向かって直接声を出し、周囲のノイズのないところでサウンドを録音してください。

▲ コンピュータのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の**[サウンド]**アイコンを右クリックするか、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[サウンド]**アイコンの順に選択します。

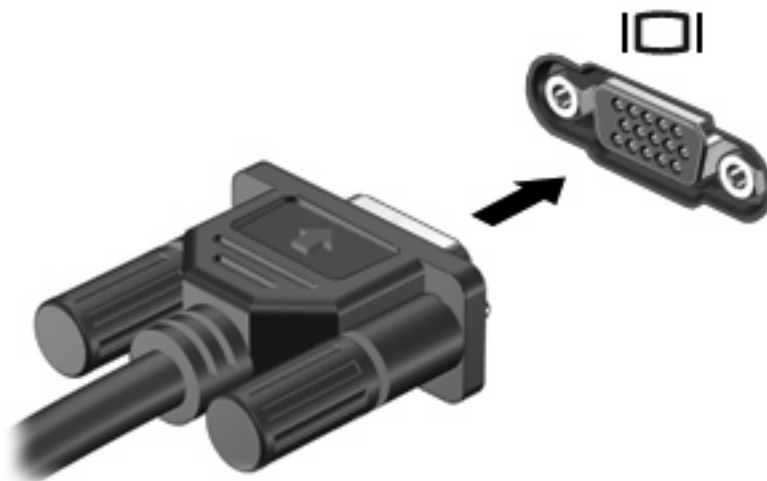
4 ビデオ

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまなビデオ機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニタまたはプロジェクタの接続

外付けモニタ コネクタによって、外付けモニタまたはプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをお使いのコンピュータに接続できます。

▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニタ コネクタに接続します。

注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、fn + f4 を押して画像をデバイスに転送します。fn + f4 を繰り返し押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

5　オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

▲　**[スタート]→[コンピュータ]**の順に選択します。

オプティカル ディスクの使用（CD および DVD）

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクでは、情報を保管または移動したり、動画や音楽を再生したりします。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

以下の表に示すように、すべてのオプティカル ドライブでオプティカル ディスクからの読み取りが可能で、モデルによっては書き込みも可能です。

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブすべてが下記の一覧に記載されているわけではありません。

オプティカル ドライブの種類	CD-ROM および DVD-ROM メディアの読み取り	CD-R/RW メディアへの書き込み	DVD（DVD+R DL、DVD ±RW/R、DVD-RAM を含む）への書き込み	LightScribe CD または DVD へのラベルの書き込み	ブルーレイの読み取り	ブルーレイ R/RE への書き込み
DVD-ROM ドライブ	可	不可	不可	不可	不可	不可
DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ	可	可	不可	不可	不可	不可
DVD±RW スーパー マルチ DL*（層記録）Lightscribe † ドライブ	可	可	可	可	不可	不可
ブルーレイ R/RE DVD±RW スーパー マルチ DL*（層記録）ドライブ	可	可	可	不可	可	可

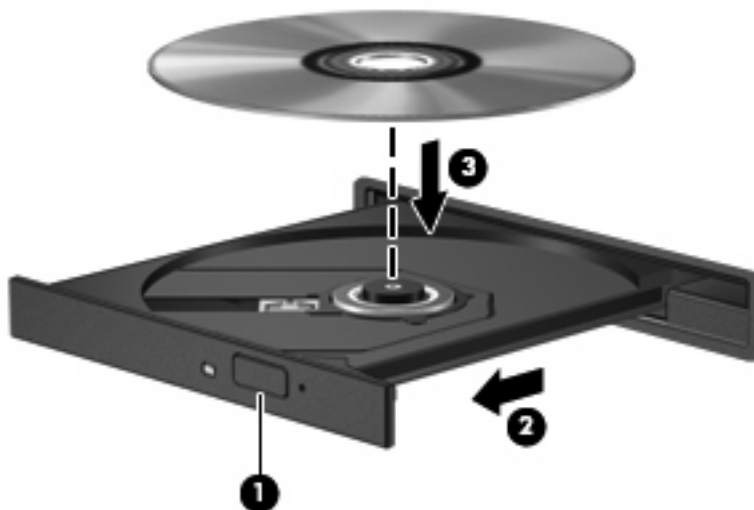
*2 層記録ディスクには、1 層式のディスクよりも多くのデータを保存できます。ただし、このドライブで作成された 2 層記録ディスクは、多くの 1 層式の DVD ドライブおよびプレーヤに対応していない場合があります。

† LightScribe ディスクは別途購入する必要があります。LightScribe は、白黒の静止画像によく似たグレースケール画像を作成します。

CD または DVD の再生

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. ディスク トレイを閉じます。

自動再生の動作を設定していない場合は、以下の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。メディアのコンテンツ（内容）をどのように扱うかについての選択を求められます。コンピュータに Windows Vista® Ultimate または Windows Vista Home Premium がインストールされている場合、DVD メディアの再生には、[Windows Media Player]または[WinDVD]のどちらかを使用できます。その他すべての Windows Vista 製品の場合、DVD メディアの再生には[WinDVD]を選択してください。

自動再生の設定

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]**の順に選択します。
2. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. **[既定を選択する]**をクリックして、表示されている各メディアの種類に対して使用可能なオプションの 1 つを選択します。

   注記： Windows Vista Ultimate または Windows Vista Home Premium がコンピュータにインストールされている場合、DVD メディアの再生には、[Windows Media Player]または[WinDVD]のどちらかを使用できます。その他すべての Windows Vista 製品の場合、DVD メディアの再生には[WinDVD]を選択してください。

4. **[保存]**をクリックします。

注記： 自動再生について詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

△ **注意：** データの損失やディスクの損傷を防ぐために、次のガイドラインに従ってください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用するディスク ソフトウェア以外の開いているすべてのプログラムを閉じます。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使ったり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

注記： コンピュータの付属ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

CD または DVD のコピー

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio]**（ロキシオ）→**[Creator Business]**（クリエイタ ビジネス）の順に選択します。
2. 右側のパネルで、**[ディスクのコピー]**をクリックします。
3. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
4. 画面右下の**[コピー]**をクリックします。

   [Creator Business]がコピー元のディスクを読み取り、そのデータをハードドライブの一時フォルダにコピーします。
5. 指示が表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

   データがコピーされると、作成したディスクは自動的に取り出されます。

CD および DVD の作成または「書き込み」

お使いのコンピュータに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[Roxio Creator Business]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータやオーディオ ファイルを書き込むことができます。動画ファイルを CD または DVD に書き込むには、[Windows Movie Maker]を使用します。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインに従ってください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じてください。
- CD-R や DVD-R は、情報をコピーした後は変更できないため、通常はオーディオ ファイルの書き込みに最適です。
- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- CD-RW や DVD-RW は、一般的にはデータ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録をテストする場合に最適です。
- ホーム システムで使用される DVD プレーヤは、通常、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、お買い上げの DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、また MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の手順で操作します。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD を、オプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。
4. 作成する CD または DVD の種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. **[スタート]→[エクスプローラ]**の順に右クリックして、元のファイルを保存したフォルダに移動します。
6. フォルダを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムで指示されているとおりに書き込み処理を開始します。

固有の説明について詳しくは、ソフトウェアのヘルプ ファイルか説明書等を参照してください。

CD または DVD の取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

再生中の中断の予防

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認してください。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクは中央から端の方に向かって拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、多くの電器店で入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで手入れしてください。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると次のようになります。

  ◦ 再生が再開します。

  または

  ◦ マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動が必要になることもあります。

- システムのリソースを増やします。

  プリンタとスキャナなどの外付けデバイスの電源を切ります。これによってシステム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。

  デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないので、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げた場合、動画の再生時に色が失われても気がつきません。

  ◦ アイコンではなくデスクトップ上の任意の場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。

  ◦ **[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。

DVD の地域設定の変更

著作権で保護されたファイルが含まれているほとんどの DVD には、地域コードも含まれています。地域コードは、世界的なレベルで著作権を保護します。

DVD の地域コードが、お使いの DVD ドライブの地域設定と一致する場合にのみ、その地域コードが含まれている DVD を再生できます。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コンピュータ]**→**[システムのプロパティ]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。

   注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行う時に、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横の[＋]記号をクリックします。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に**[プロパティ]**をクリックします。
5. **[DVD 地域]**タブをクリックして、設定を変更します。
6. **[OK]**をクリックします。

6　HP Web カメラ

お使いのコンピュータには、ディスプレイの上部に HP Web カメラが内蔵されています。プリインストールされたソフトウェアを使用すると、Web カメラを使用して写真の撮影、動画の録画、またはオーディオの録音ができます。写真、録画した動画、または録音したオーディオをプレビューして、コンピュータのハードドライブに保存できます。

Web カメラおよび[HP Webcam]ソフトウェアにアクセスするには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP Webcam]**の順に選択します。

Web カメラ ソフトウェアを使用すると、以下の機能を利用できます。

- 動画：動画の録画や再生をします。また、ソフトウェア インタフェースのアイコンを使用して、動画を電子メールで送信したり、YouTube にアップロードしたりできます。
- オーディオ：オーディオの録音や再生をします。
- 動画の再生：UVC（Universal Video Class）カメラをサポートするインスタント メッセージ ソフトウェア ソリューションで使用します。
- スナップショット：静止画像を撮影します。
- HP Presto! Bizcard（一部のモデルのみ）：名刺のデータを連絡先情報の有用なデータベースに変換するために使用します。

Web カメラ使用上の注意

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラの使用時は以下のガイドラインに従ってください。

- ビデオ チャットを始める前に、最新バージョンのインスタント メッセージ プログラムを用意してください。
- ネットワーク ファイアウォールの種類によっては、Web カメラが正常に機能しない場合があります。別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザと通信するときに動画の表示や送信に問題が生じる場合は、一時的にファイアウォールを無効にしてください。

  注記： 特定の状況下では、ファイアウォールはインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を永久に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

- 可能な限り、Web カメラの背後と写真領域の外側に、明るい光源を配置します。

注記： Web カメラの使用について詳しくは、Web カメラ ソフトウェアの**[ヘルプ]**メニューを参照してください。

Web カメラのプロパティの調整

以下のような Web カメラのプロパティを調整できます。

- **[輝度]**：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定すると明るい画像になり、輝度を低く設定すると暗い画像になります。
- **[コントラスト]**：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、元の情報のダイナミック レンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- **[色相]**：他の色との特性の差異（赤、緑、青の度合い）を調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- **[色彩]**：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- **[シャープネス]**：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとよりはっきりとした画像になり、シャープネスを低く設定するとより柔らかい画像になります。
- **[ガンマ]**：画像の中間調の灰色または中間色に作用する対比を調整します。画像のガンマを調整することで、大幅に陰影およびハイライト部分を変更することなく、中間色の灰色部分の輝度を変化させることができます。ガンマを低く設定すると灰色はより黒く、濃い色はより濃くなります。
- **[逆光補正]**：バックライトの明るさを調整します（バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します）。
- **[夜間モード]**：低光量の状態を補正します。
- **[ズーム]**（**一部のモデルのみ**）：写真撮影や動画録画でのズームのパーセンテージを調整します。
- **[水平方向]**または**[垂直方向]**：画像を水平方向または垂直方向に回転させます。
- **[50 Hz]**または**[60 Hz]**：ちらつきのない動画の録画のために使用するシャッター速度を調整します。

複数の明るさの状態用にあらかじめ設定されたカスタマイズ可能なプロファイルによって、「白熱灯」、「蛍光灯」、「ハロゲン」、「晴れ」、「曇り」、「夜」といった明るさの状態を補正します。

Web カメラのフォーカス モードの制御（一部のモデルのみ）

フォーカス モードには次のオプションがあります。

- **[Normal]**（ノーマル）：カメラの出荷時設定は通常の写真に適しています。最短焦点距離がレンズから 1 m 程度、最長焦点距離は無限遠です。
- **[Macro]**（マクロ）：クローズアップ フォーカス設定。このモードは至近距離から写真や動画を撮影するための設定です（一部のモデルのみ）。

注記： Bizcard リーダー（一部のモデルのみ）は、操作中はマクロ モードに設定されるように、常にプリセットされています。

[HP Web カメラ]のフォーカス モードを表示または変更するには、以下の手順で操作します。

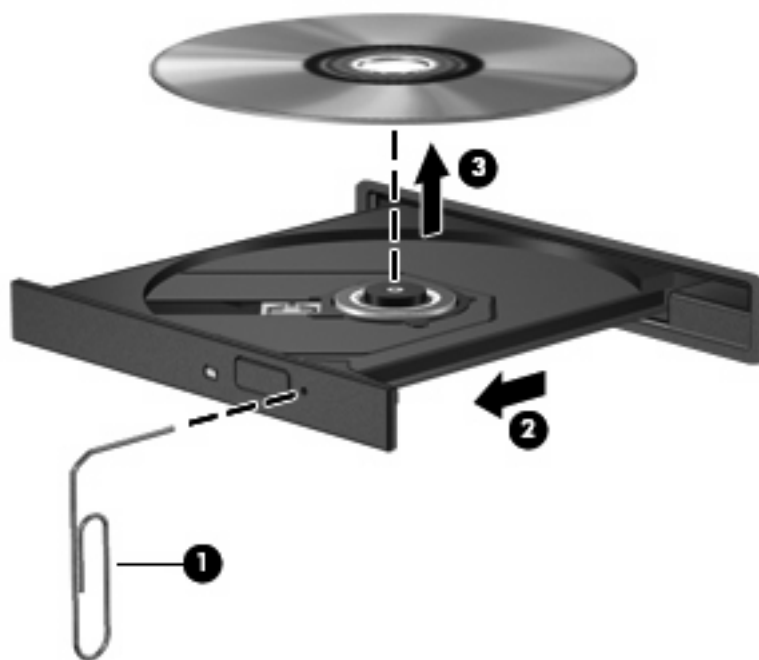
▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Webcam]→[Settings]**（設定）→**[Options]**（オプション）の順に選択します。

7 トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD または DVD を取り出せない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスク トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

ディスクが再生できない場合

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認してください。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクは中央から端の方に向かって拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、多くの電器店で入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで手入れしてください。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると次のようになります。

  - 再生が再開します。

  または

  - マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動が必要になることもあります。
- システムのリソースを増やします。
  - プリンタとスキャナなどの外付けデバイスの電源を切ります。これによってシステム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないので、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げた場合、動画の再生時に色が失われても気がつきません。

    1. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]**→**[画面の設定]**の順に選択します。

    2. 設定がまだされていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。

ディスクが自動再生されない場合

1. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスに自動再生と入力します。

   入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。

2. 検索結果の枠内で、**[自動再生]**をクリックします。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。

3. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]**のチェック ボックスにチェックを入れ、**[保存]**をクリックします。

   これで、CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクに傷がついていたり、損傷していないことを確認します。
- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
    - インターネットからログオフします。
    - デスクトップの色のプロパティを変更します。

      1. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]** の順に選択します。

      2. 設定がまだされていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。
    - プリンタ、スキャナ、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

DVD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピュータのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、fn + f4 を 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニタの設定を行います。
   a. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。
   b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

注記： 両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

コンピュータにプリインストールされている[WinDVD]を使用して、DVD を再生してください。

ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャ]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバを再インストールします。

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合

Windows がオプティカル ドライブを検出しない場合は、[デバイス マネージャ]を使用してデバイスの問題を解決して、デバイス ドライバを更新、アンインストール、またはロールバックします。

[デバイス マネージャ]でデバイスとドライバを確認するには、以下の手順で操作します。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[デバイス マネージャ]**の順に選択します。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
3. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、**[Disc Drives]**（ディスク ドライブ）または**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。
4. 表示されているオプティカル デバイスを右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
   - ドライバを更新する。
   - デバイスを無効にする。
   - ハードウェアの変更をスキャンする。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、必要な初期設定のドライバをすべてインストールします。
   - デバイスが正しく動作しているかどうか確認するには、**[プロパティ]**をクリックします。
     - **[トラブルシューティング]**をクリックして、問題を解決します。
     - **[ドライバ]**タブをクリックして、このデバイスのドライバを更新、ロールバック、無効化、またはアンインストールします。

新しいデバイス ドライバが必要な場合

Microsoft デバイス ドライバの入手

お使いのコンピュータは、最新の Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品の更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

HP デバイス ドライバの入手

最新の HP デバイス ドライバは、以下のどちらかの方法で入手できます。

- [HP Update Utility]（HP アップデート ユーティリティ）の使用
- HP の Web サイトの使用

[HP Update Utility]を使用するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Update]**（HP アップデート）の順に選択します。
2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[Settings]**（設定）をクリックして、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。
3. **[Next]**（次へ）をクリックして HP のソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の手順で操作します。

1. インターネット ブラウザを開いて http://www.hp.com/support/に移動します。
2. 国または地域を選択します。
3. [ドライバ＆ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピュータの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]ボックスに入力します。
4. enter キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

索引